

証券コード：6841
横河電機株式会社

2022年3月期 第3四半期
決算説明会

執行役員 経理財務本部長

中嶋 倫子

2022年2月8日

目次

1. 2022年3月期 第3四半期 連結決算の概要 P. 3

2. 決算補足資料 P. 15

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移

研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

3. 参考資料 P. 23

制御ビジネス金額別受注推移／トピックス

YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2022年3月期 第3四半期 連結決算の概要

対象期間：2021年10月1日～2021年12月31日

■第3四半期実績：増収減益

- ・サマリー : 受注は、対前年で増加。
売上は、為替の変動影響により増収。
営業利益は、助成金の減少による反動、新事業やDX関連投資の増加等により減益。
四半期純利益は、営業利益が減少したことに加え、特別損失を計上したことなどにより減益。
- ・セグメント別 : 制御 増収減益 (除・為替影響 : 受注 + 14.2%、売上 ▲ 1.0%、営業利益 ▲ 14.7%)
測定器 増収増益
航機その他 増収減益
- ・地域別 : 受注は、日本・中国を中心に引き続き堅調、中東アフリカで停滞していた大口受注を獲得。
- ・業種別 : Downstream、Chemicalが堅調、3Qに入り、Upstream に動き。

■通期業績予想：修正あり

- ・修正要因 : ①為替レートの見直し (USD107.5円 ➡ 111.0円)
②受注は3Qまでの実績と今後の見通しを踏まえ上方修正

■配当予想：年間配当金34円（修正なし）

※第1四半期連結累計期間より、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、従来「計測事業」セグメントに含まれていたライフノーション事業を「制御事業」セグメントに区分を変更するとともに、従来「計測事業」としていた報告セグメントの名称を「測定器事業」に変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

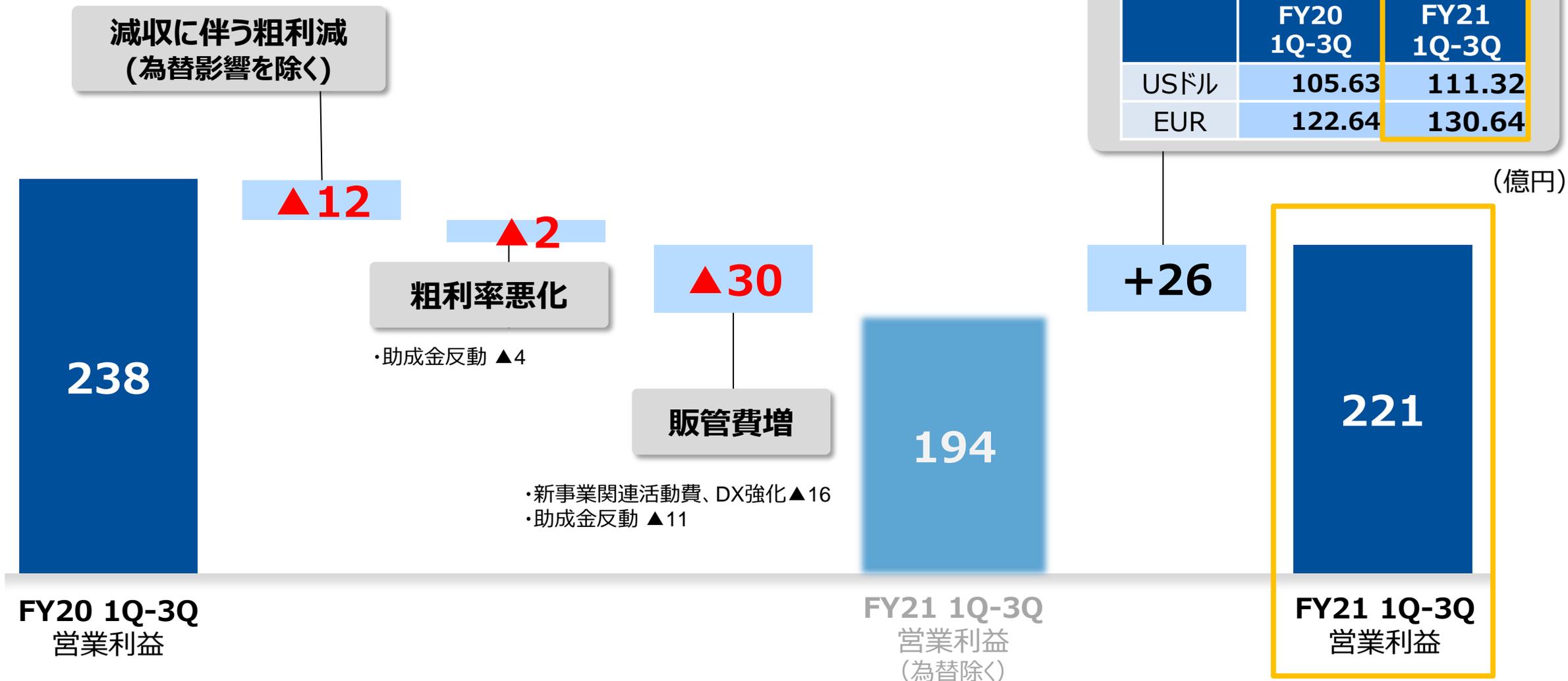
決算サマリー（前年同期比）

- ◆受注・売上 : 受注は**増加**（除・為替影響+13.5%）
売上は、為替の変動影響により**増収**（除・為替影響▲1.0%）
- ◆営業利益 : 助成金の減少による反動、新事業やDX関連投資の増加等により**減益**（除・為替影響▲18.1%）
(億円)

	FY20 1Q-3Q	FY21 1Q-3Q	差 異	増減率	為替影響
受 注 高	2,551	3,045	+494	+19.3%	+150
売 上 高	2,697	2,808	+111	+4.1%	+138
営 業 利 益	238	221	▲17	▲7.1%	+26
ROS(%)	8.8	7.9	▲1.0pt	—	—
経 常 利 益	252	243	▲9	▲3.6%	+29
親会社株主に帰属 する四半期純利益	167	142	▲25	▲14.9%	+25
為替レート 1米ドル=	105.63円	111.32円	+5.69円	—	—

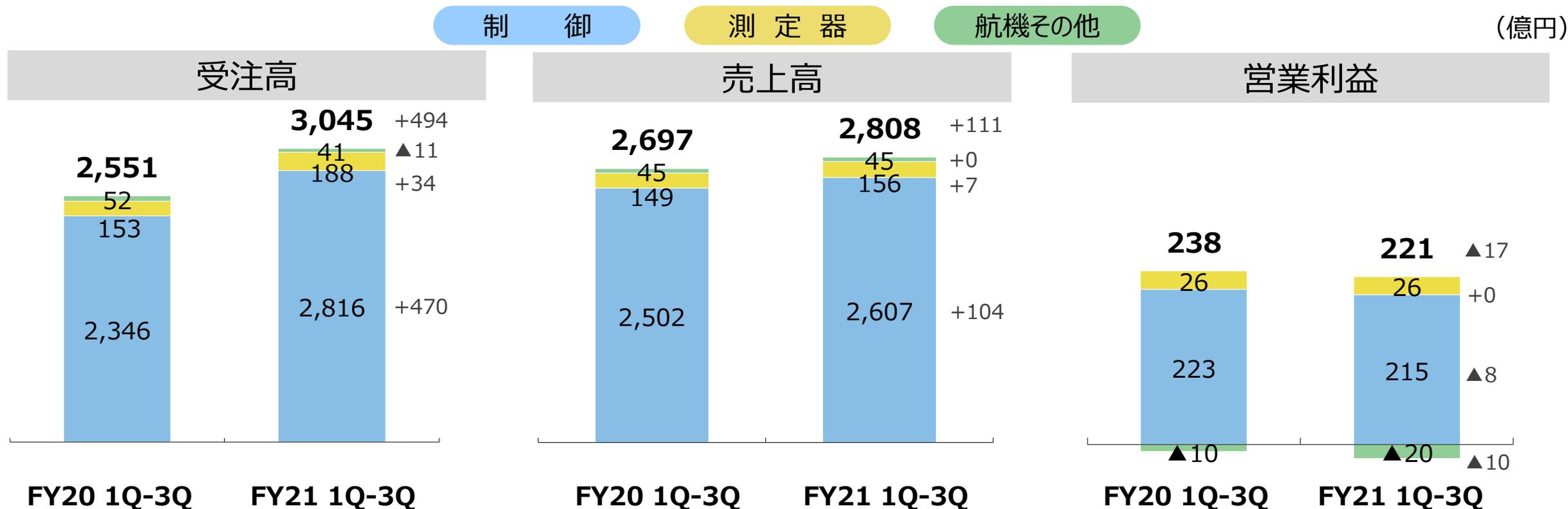
営業利益分析（前年同期比）

◆助成金の減少による反動、新事業やDX関連投資の増加等により減益



セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業 : 受注は堅調。売上は為替の変動影響などにより増収（除・為替影響：受注+14.2%、売上▲1.0%）
営業利益は、助成金の減少による反動、新事業やDX関連投資の増加等により減益（除・為替影響：▲33億円、▲14.7%）
- ◆ 測定器事業 : 売上は為替の変動影響などにより増収。営業利益はほぼ前年並み
- ◆ 航機その他事業 : 売上は前年並み。営業利益は新規事業の販管費増加などにより、減益



*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

| February 8, 2022 |

制御地域別 受注・売上高

◆受注は、日本・中国を中心に引き続き堅調、中東アフリカで停滞していた大口受注を獲得。

◆受注：+333億円、+14.2%（除・為替影響） 売上：▲24億円、▲1.0%（除・為替影響）

（億円）

受注高	FY20 1Q-3Q (A)	FY21 1Q-3Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	763	827	+64
アジア	780	993	+213
（東南アジア・ 極東）	(383)	(433)	(+50)
（中国）	(313)	(450)	(+137)
（インド）	(84)	(110)	(+26)
欧州・CIS	274	326	+52
中東アフリカ	293	370	+77
北米	147	214	+67
中南米	90	85	▲5
海外小計	1,584	1,988	+404
合計	2,346	2,816	+470
為替レート 1米ドル=	105.63円	111.32円	5.69円

売上高	FY20 1Q-3Q (A)	FY21 1Q-3Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	754	760	+6
アジア	833	947	+114
（東南アジア・ 極東）	(425)	(436)	(+11)
（中国）	(327)	(416)	(+89)
（インド）	(81)	(95)	(+14)
欧州・CIS	306	325	+19
中東アフリカ	305	277	▲28
北米	241	217	▲24
中南米	63	81	+18
海外小計	1,748	1,847	+99
合計	2,502	2,607	+104
為替レート 1米ドル=	105.63円	111.32円	5.69円

*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

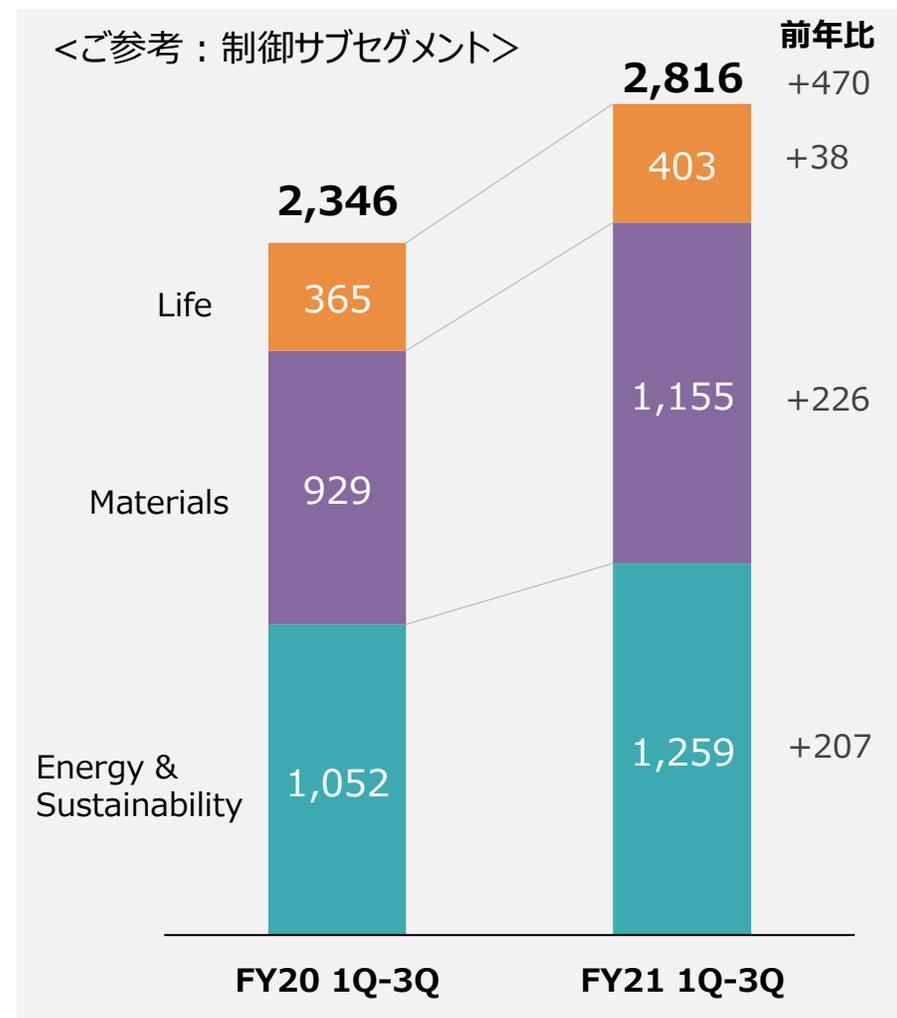
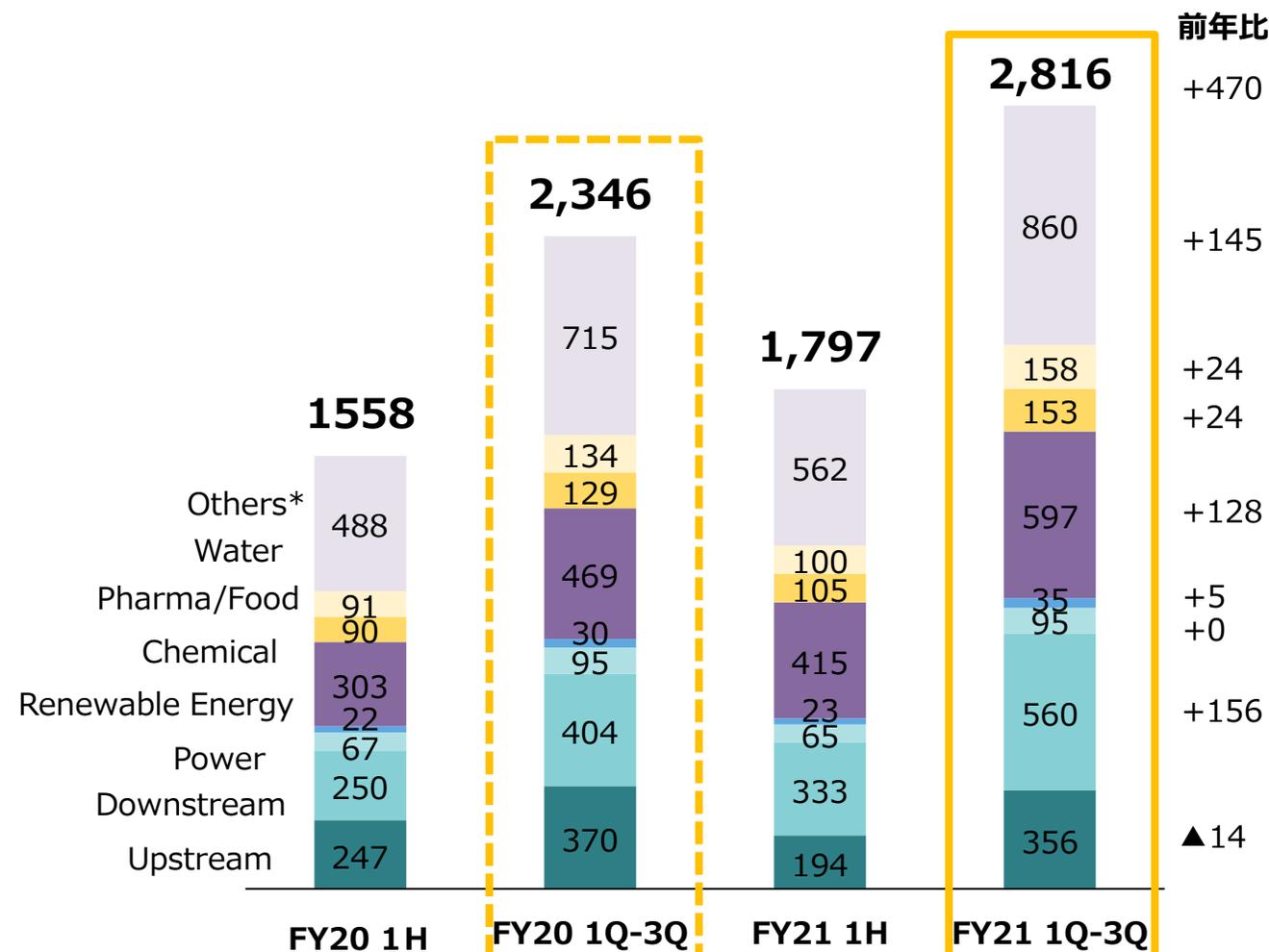
| February 8, 2022 |

© Yokogawa Electric Corporation

制御業種別 受注高

◆ Downstream、Chemicalが堅調。3Qに入り、Upstreamにも動き。

(億円)



*Othersの主な業種：ELECTRICAL & ELECTRONIC、IRON & STEEL、PULP & PAPER ほか

*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

| February 8, 2022 |

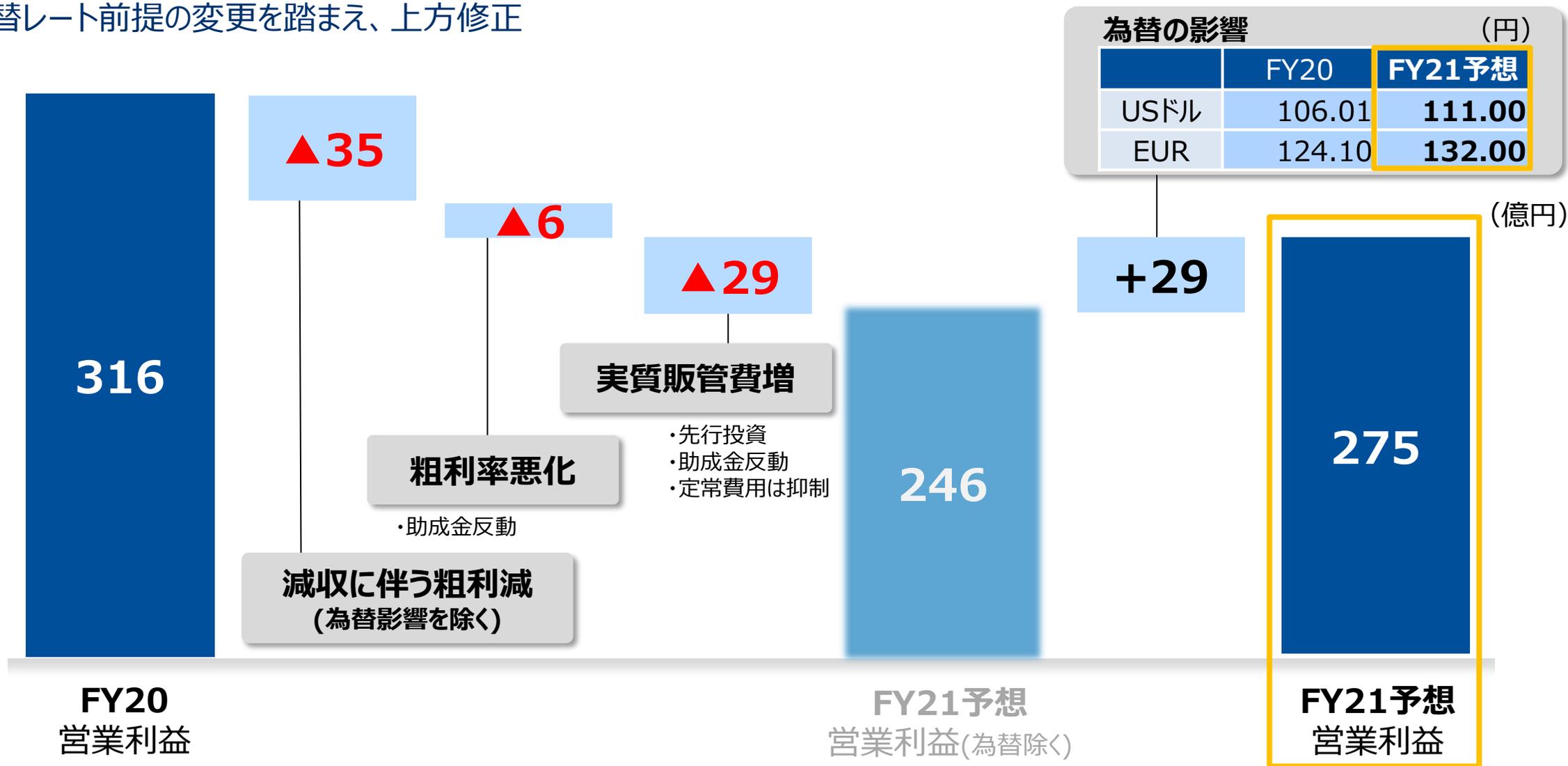
FY21業績予想（修正あり）

- ◆ 受注は、為替レート前提変更と3Qまでの実績・今後の見通しを踏まえ150億円上方修正（為替影響+70億円）
- ◆ 売上・営業利益は、為替レート前提の変更を踏まえ上方修正（為替影響：売上+70億円、営業利益+15億円）

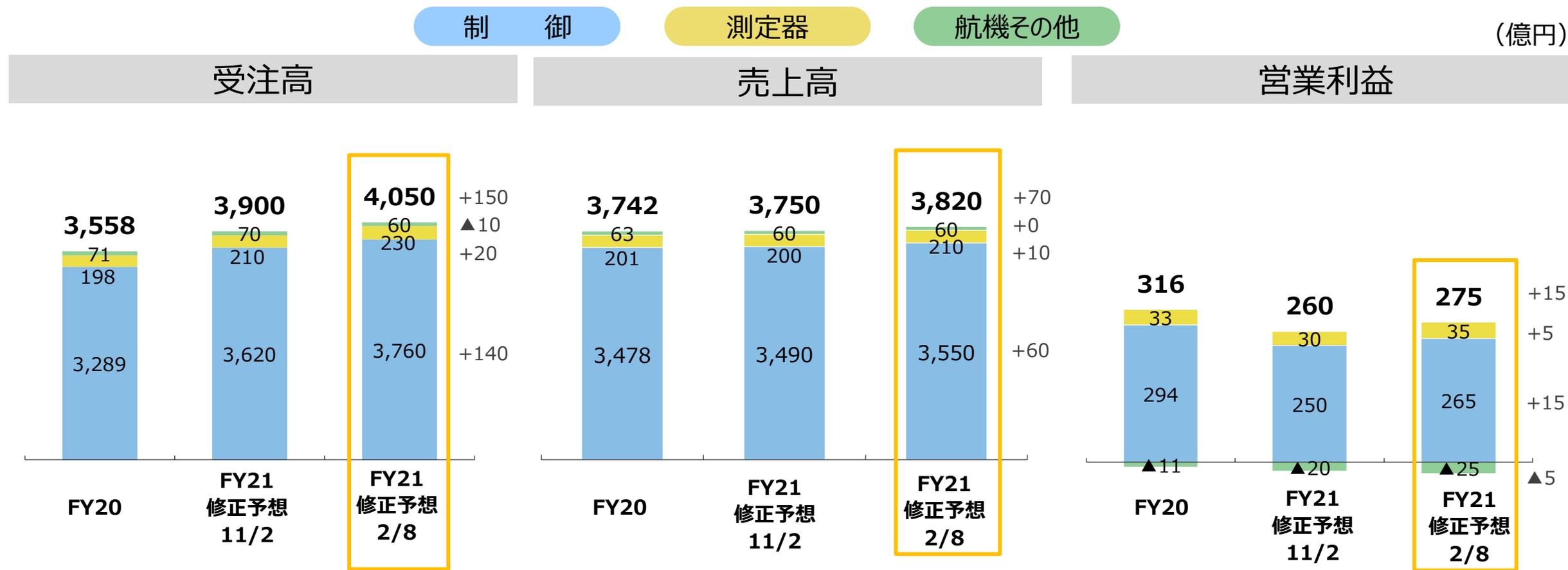
	FY20 実績(A)	FY21予想 11/2(C)	FY21予想 2/8(D)	前回予想比 (D-C)	前年比 (D-A)	伸長率 (D/A-1)	(億円)
受注高	3,558	3,900	4,050	+150	+492	+13.8%	
売上高	3,742	3,750	3,820	+70	+78	+2.1%	
営業利益	316	260	275	+15	▲41	▲13.0%	
ROS(%)	8.4	6.9	7.2	+0.3pt	▲1.2pt	-	
経常利益	341	260	285	+25	▲56	▲16.4%	
税引前利益	315	250	265	+15	▲50	▲15.9%	
法人税等	123	90	100	+10	▲23	▲18.7%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	192	160	165	+5	▲27	▲14.2%	
EPS(円)	72.00	59.94	61.81	+1.87	▲10.19	▲14.2%	
為替レート	1米ドル=	106.01円	107.50円	111.00円	+3.5円	4.99円	-

営業利益分析 予想（修正あり）

◆ 為替レート前提の変更を踏まえ、上方修正



セグメント別 受注・売上・営業利益 予想（修正あり）



FY21よりセグメント区分を変更したことに伴い、FY20の数字も変更しています。

変更額(計測事業→制御事業)：受注高+59億円、売上高+57億円、営業利益▲21億円

制御地域別 受注・売上高 予想 (修正あり)

(億円)

受注高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,129	1,200	+71
アジア	1,049	1,270	+221
（東南アジア・ 極東）	(499)	(560)	(+61)
（中国）	(431)	(560)	(+129)
（インド）	(119)	(150)	(+31)
欧州・CIS	400	430	+30
中東アフリカ	379	460	+81
北米	222	290	+68
中南米	110	110	+0
海外小計	2,160	2,560	+400
合計	3,289	3,760	+471
為替レート 1米ドル=	106.01円	111.00円	4.99円

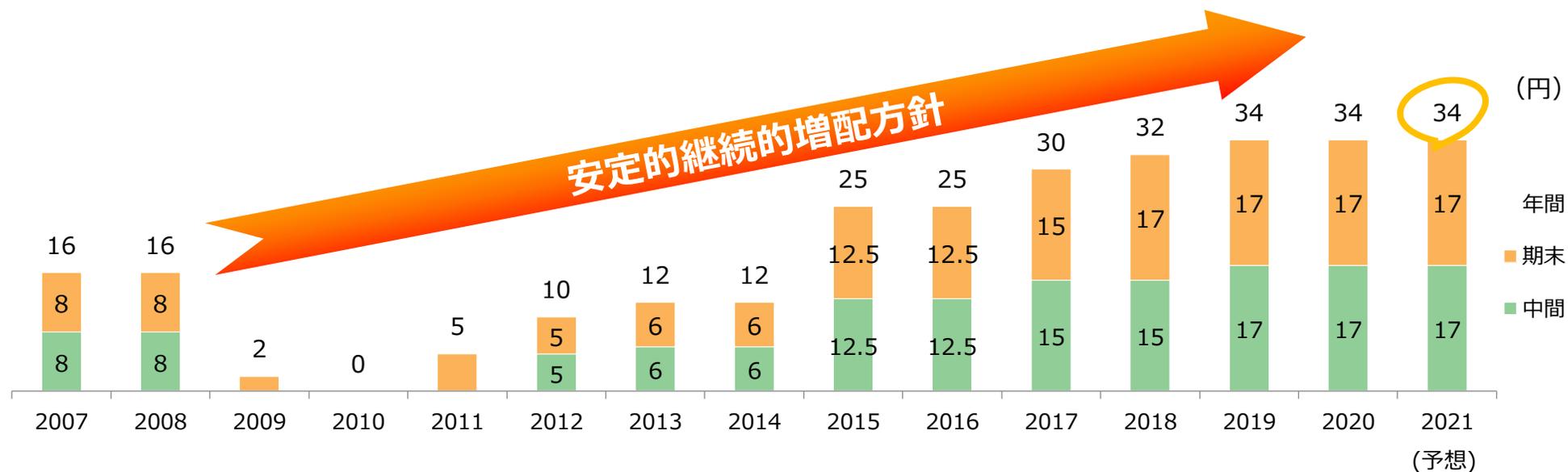
売上高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,093	1,090	▲3
アジア	1,136	1,195	+59
（東南アジア・ 極東）	(564)	(560)	(▲4)
（中国）	(449)	(505)	(+56)
（インド）	(123)	(130)	(+7)
欧州・CIS	419	425	+6
中東アフリカ	420	420	+0
北米	315	310	▲5
中南米	95	110	+15
海外小計	2,385	2,460	+75
合計	3,478	3,550	+72
為替レート 1米ドル=	106.01円	111.00円	4.99円

*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

<変更なし> FY21配当は過去最高額を継続

FY20 : 34円 (配当性向47.2%)

FY21 : 34円 (配当性向56.7%)

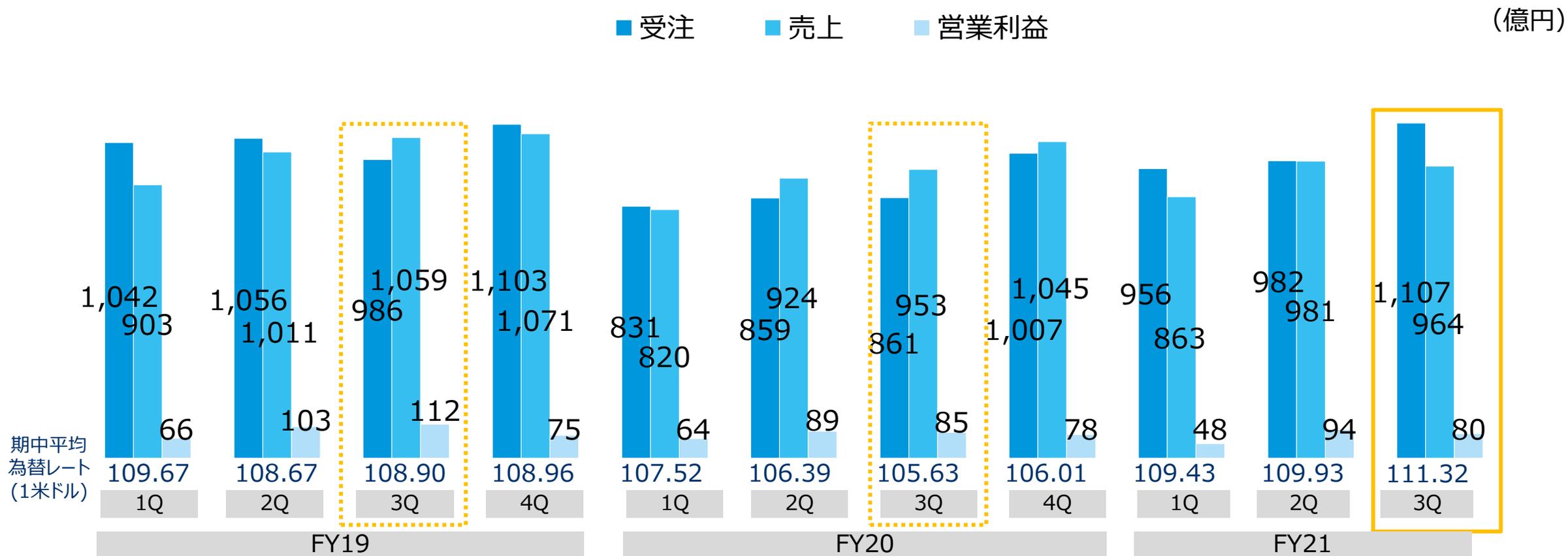


決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向



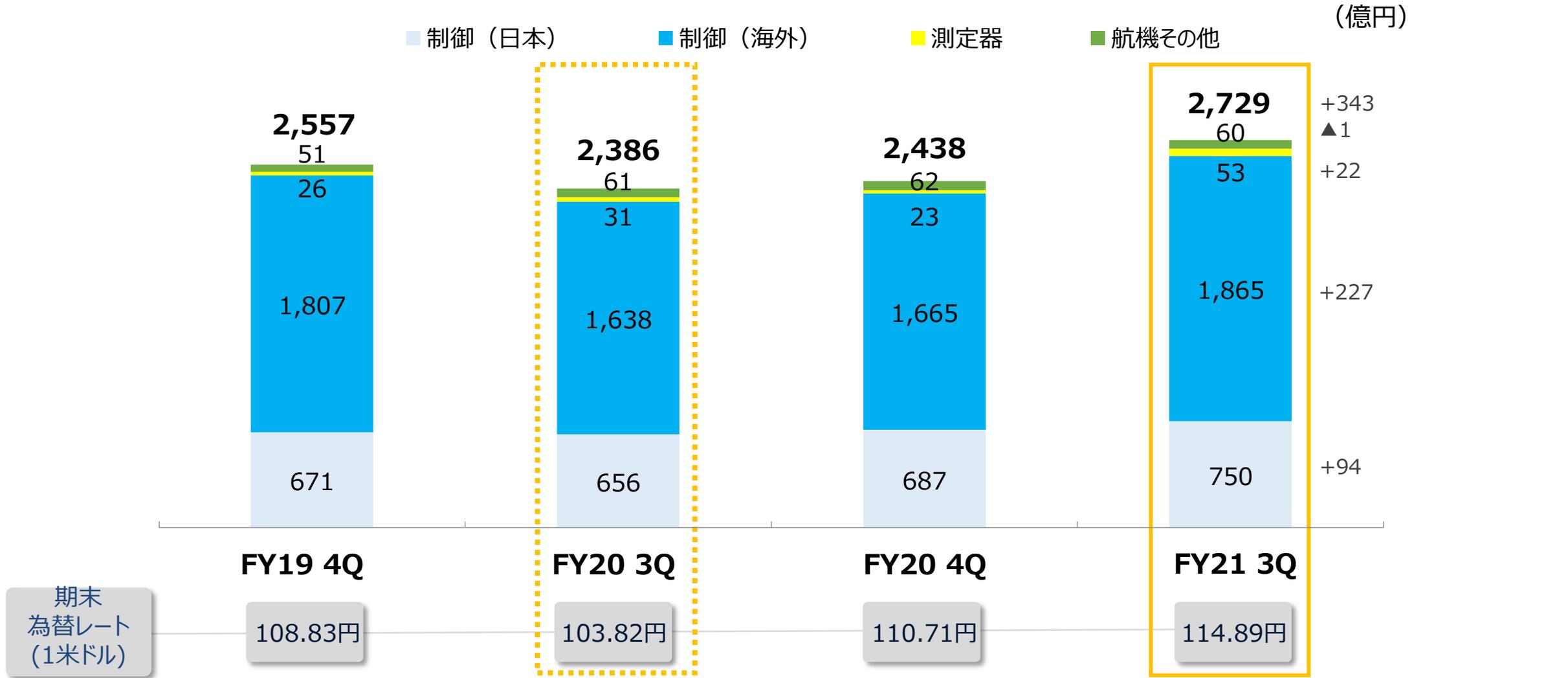
補足：営業外・特別損益

(億円)

	FY20_1Q-3Q	FY21_1Q-3Q
営業利益	238	221
営業外収益	27	36
営業外費用	14	15
経常利益	252	243
特別利益	1	1
特別損失	16	19
税引前利益	237	225
法人税等	70	83
親会社株主に帰属する 四半期純利益	167	142
(税負担率)	23.5%	29.3%

FY20：事業構造改善費用 11億円
FY21：事業構造改善費用 15億円

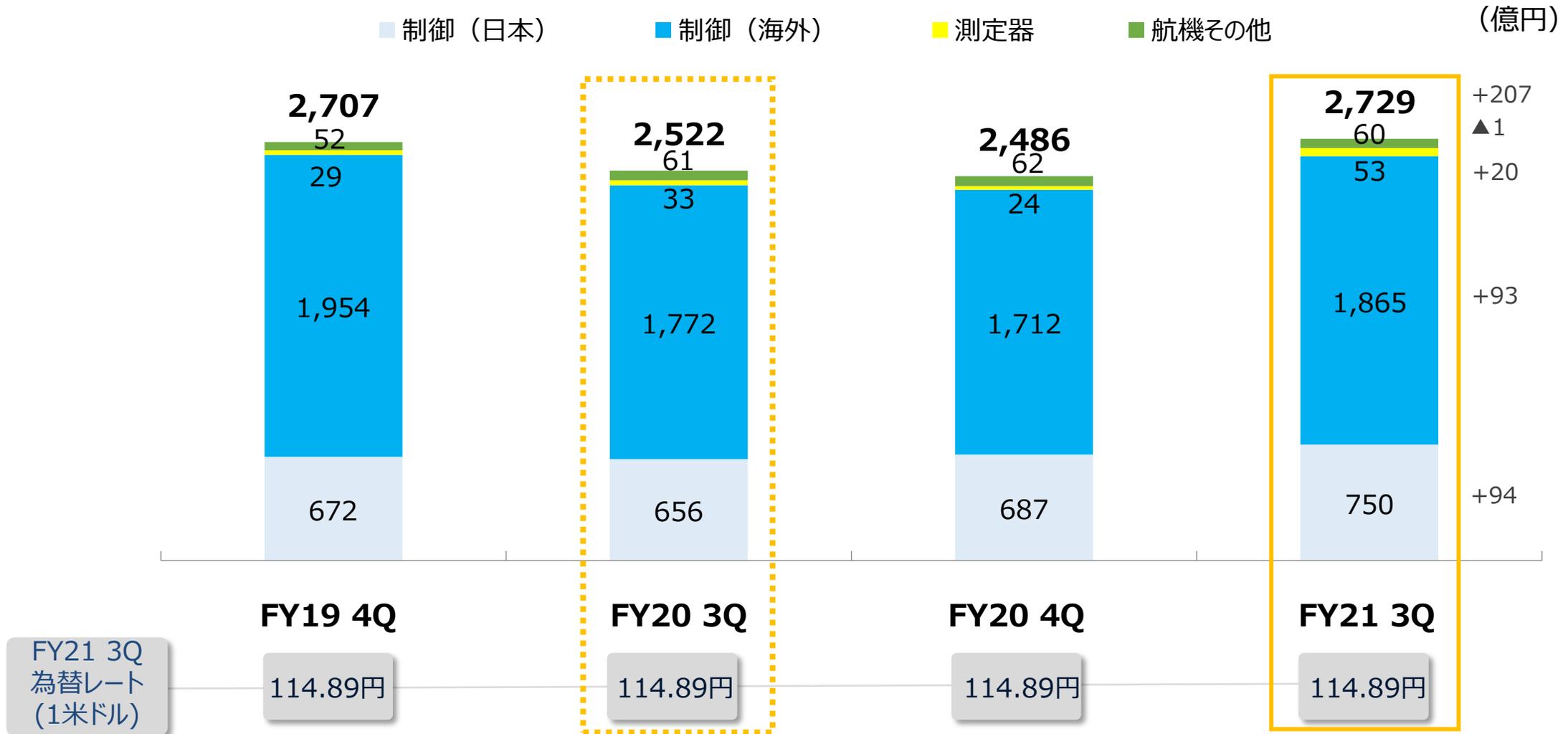
補足：セグメント別 受注残推移



*FY19, FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

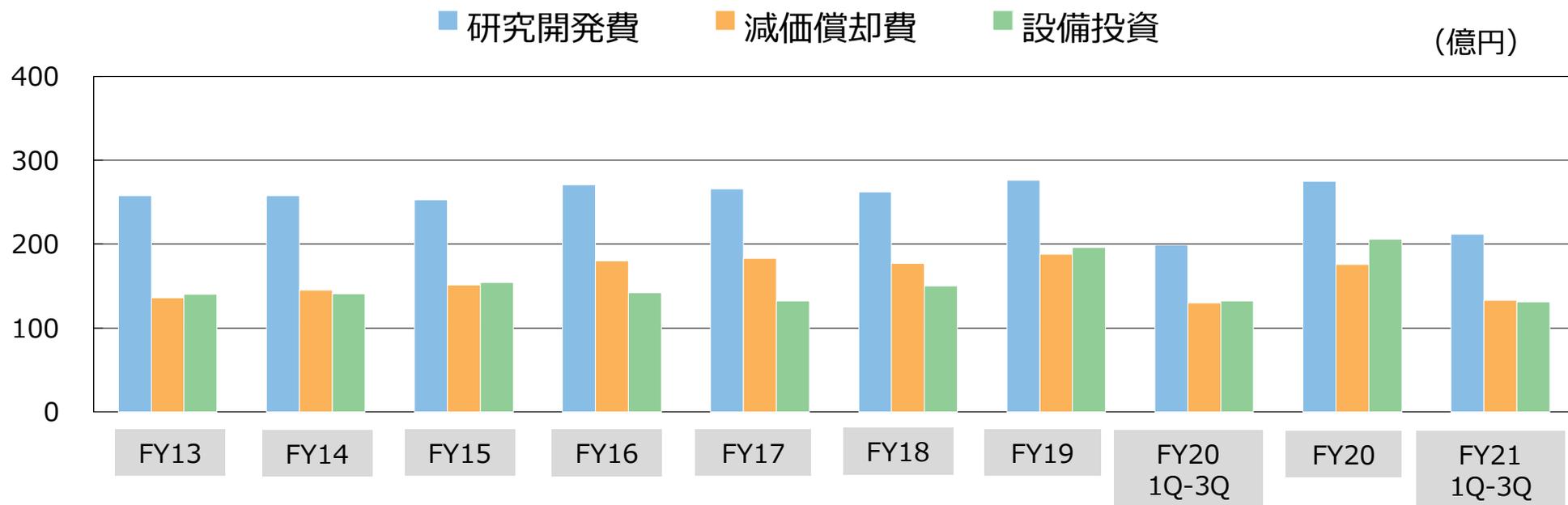
補足：セグメント別 受注残推移

* FY21 3Q期末為替レート換算



*FY19, FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

補足：研究開発費・減価償却費・設備投資



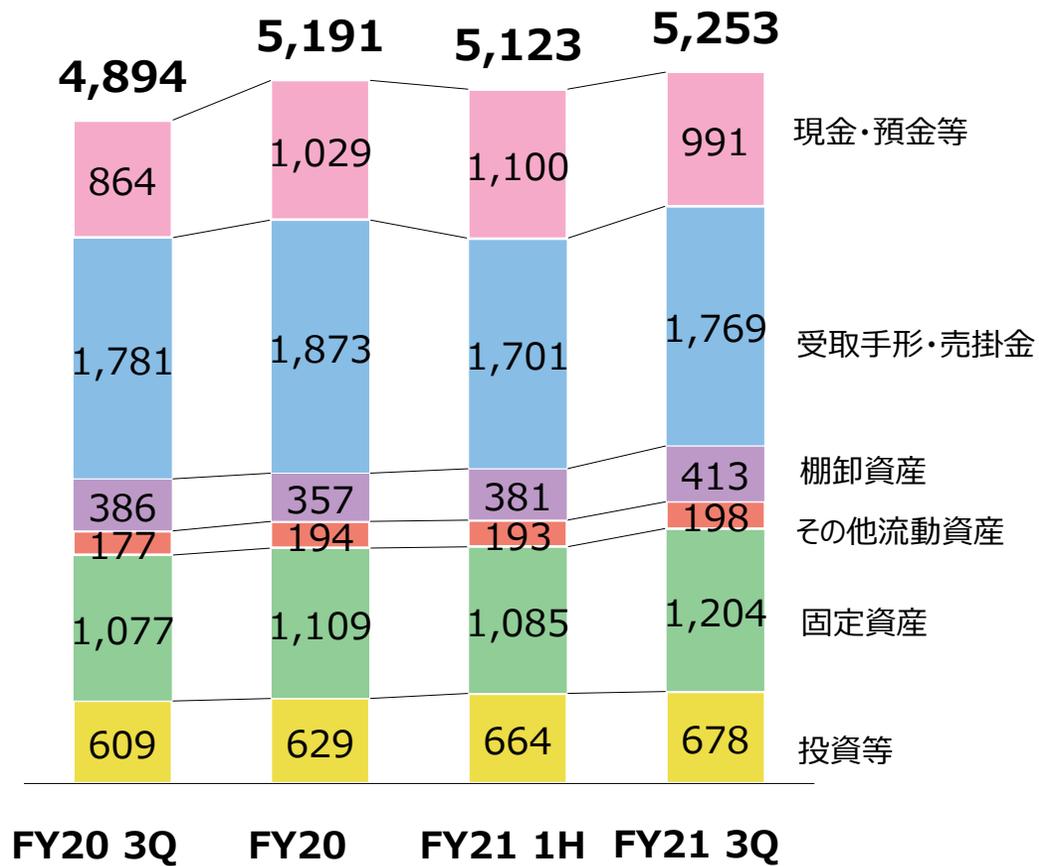
	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20 1Q-3Q	FY20	FY21 1Q-3Q
研究開発費 (対売上高比率)	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	262 6.5%	276 6.8%	199 7.4%	275 7.3%	212 7.5%
減価償却費 (対売上高比率)	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	177 4.4%	188 4.6%	130 4.8%	176 4.7%	133 4.7%
設備投資 (対売上高比率)	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	150 3.7%	* 196 4.9%	132 4.9%	206 5.5%	131 4.7%

*FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

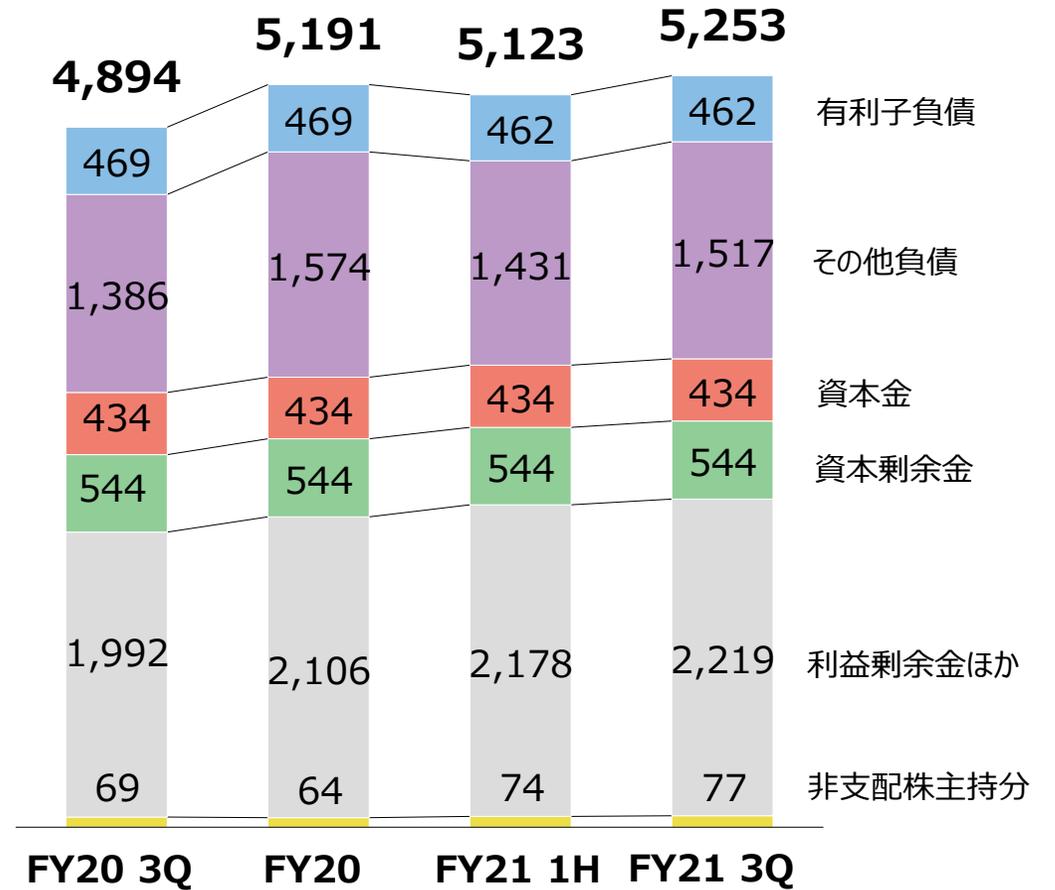
補足：貸借対照表

(億円)

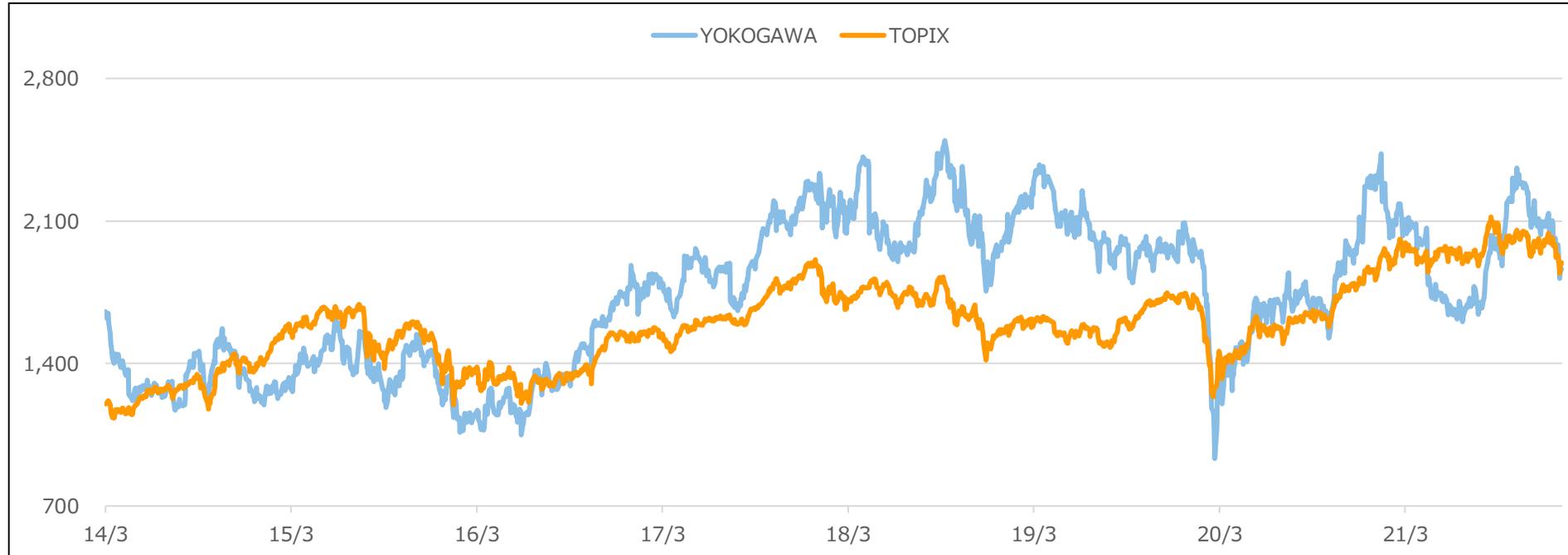
資産



負債・資本



補足：株価の状況



(¥)

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/6	21/9	21/12	22/1/31
Yokogawa	1,667	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	1,303	2,038	1,660	1,959	2,074	1,865
TOPIX	1,203	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,403	1,954	1,944	2,030	1,992	1,896

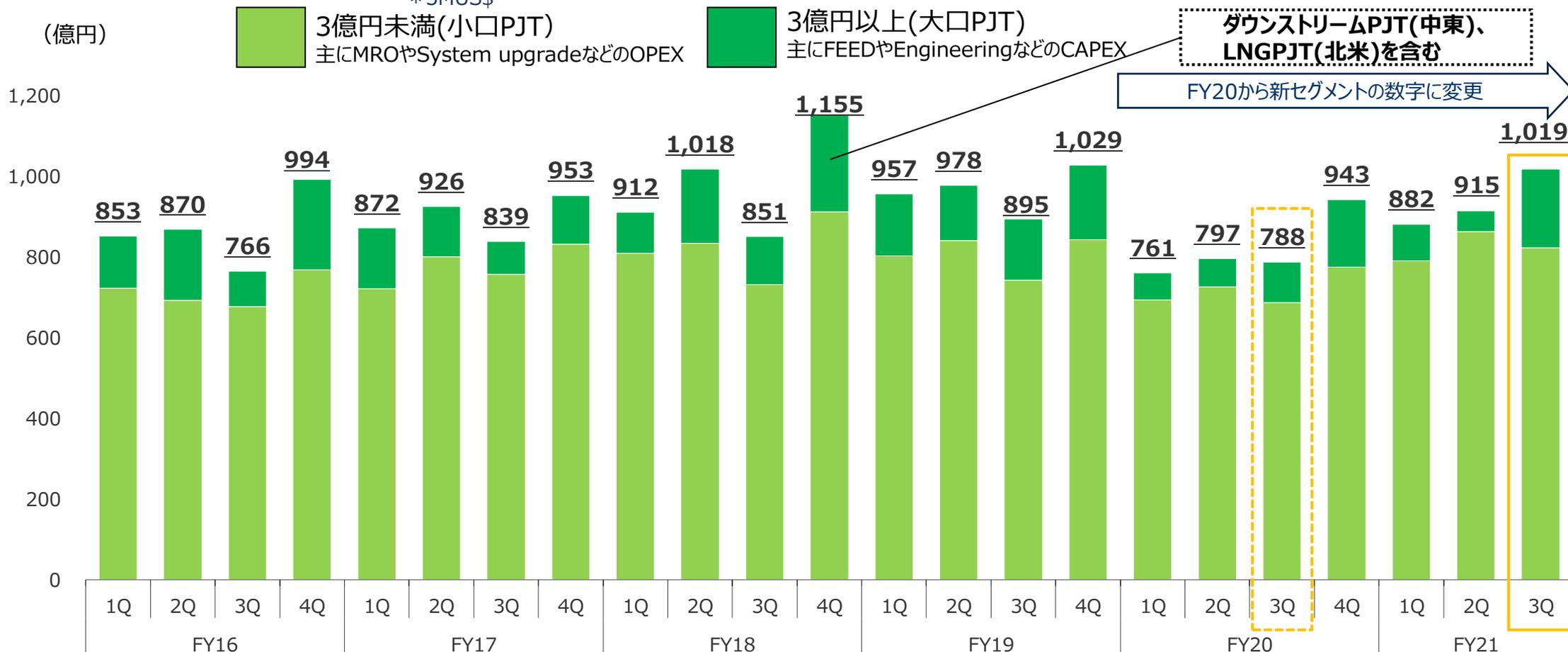
参考資料

- ・制御ビジネス金額別受注推移
- ・トピックス
- ・採用されているESG関連インデックスなど

ご参考：制御ビジネス金額別受注推移

約 3 億円*以上の大口PJT比率は10~15%程度のみ

* 3MUS\$



USD	FY16				FY17				FY18				FY19				FY20				FY21		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q																
USD	108.53	102.91	107.64	108.95	111.42	111.29	111.77	110.70	109.53	110.72	111.34	111.07	109.67	108.67	108.90	108.96	107.52	106.39	105.63	106.01	109.43	109.93	111.32

ご参考：トピックス (11/2～2/8)

11月

革新的なバイオプロセス向けデジタルツイン技術をもつInsilico Biotechnologyを買収
～バイオ医薬品の開発から生産までのソリューション構築を目指す～

YOKOGAWAサステナビリティレポート2021を発行 [Link](#)

1細胞解析に革命をもたらす細胞内サンプリングシステム「SS2000」を開発
～特定の細胞や細胞内成分を自動で収集し、効率的な創薬研究を支援～



YOKOGAWA
サステナビリティレポート



Single Cellome System
「SS2000」

12月

電力系統・再生可能エネルギー電源向け高速制御ソフトウェア開発の米国PXiSE社を買収
～エネルギー最適配分、レジリエントな電力系統およびより効率的な資産運用を可能にするソリューション提供へ～

先進的な糖鎖関連の技術で世界をリードする糖鎖工学研究所と資本・業務提携
～バイオ合成プロセスと医薬品生産プラットフォームの構築を目指す～

JAXAの宇宙探査イノベーションハブで採択された研究を開始
～光ファイバセンシングの研究開発を通して、宇宙設備の安全への貢献を目指す～



光ファイバ温度センサ DTSX3000

1月

OpreX Control and Safety Systemのラインアップを中心にサイバーセキュリティ対策と安全性を強化

OpreX Control and Safety Systemのラインアップである「統合情報サーバ」をクラウド化
～Yokogawa Cloudを介した提供により更なる安全で効率的な運用を実現～

オープン・プロセス・オートメーション（OPA）に関するフィールドテストのシステムインテグレータに選定
～ExxonMobilとの共同プロジェクトで、OPAシステムをテストベッドから実際の製造プロセス設備へと移行～

ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2022年1月現在

DJSI-Asia Pacific Index
FTSE4Good Index Series
FTSE Blossom Japan Index
MSCI ESG Ratings AA
MSCI ESG Leaders Indexes
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
MSCI 日本株 女性活躍指数
ISS ESG - ESG コーポレートレーティング Prime (初)
Sustainalytics Top-Rated ESG Regional Performer (初)
SNAMサステナビリティ・インデックス
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数

Member of

Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA



2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



横河電機株式会社のMSCI Indexesへの組み入れ、および本レポートでのMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による横河電機株式会社の後援、推薦またはプロモーションではありません。MSCI IndexesはMSCIの独占的財産あり、その名称およびロゴはMSCIおよびその関係会社の商標またはサービスマークです。

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の用件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

IR部

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

Co-innovating tomorrow™

